

駒澤大学2-0関東学院大学

粘り強さを見せつけ 関学大から無失点

ベンチ組と喜び合う山本
(撮影：森下 和貴)

4月28日 11:30 Shonan BMW スタジアム平塚	
駒大 2 (1-0) 0 関学大	
得点者 (アシスト)	
[駒]45分中村 [駒]55分山本(小牟田)	
KOMAZAWA	KANTOGAKUIN
GK①大石健太(4) DF③鈴木啓晃(1) DF④平尾優頼(3) DF⑤伊藤慎人(3) DF③田中雄一(4) MF⑥若山瞭太(4) MF⑦碓井鉄平(4) MF②久永翼(2) (59分)⑩柳川剛輝(2) MF④中村駿(2) (76分)⑫キムデセン(1) FW⑩山本大貴(4) FW⑨小牟田洋佑(3) (84分)⑫菊池将太(2)	GK①守山健二(4) DF⑤山口聖矢(2) DF④久保海都(2) DF⑬廣瀬聖(3) DF⑫吉田蒼一郎(1) MF③土館賢人(3) MF⑦太田一輝(3) (71分)⑩村田勝利(2) MF⑥木村魁人(2) (71分)⑨富樫敬真(2) MF③山本真也(4) FW⑩橋村圭太(2) (84分)③三橋秀平(1) FW⑪菅沼優聖(2)
S U B	S U B
GK②積田景介(2) DF⑥嶋谷昇大(2) MF②立石忠之(2) MF⑧睦地健太(4)	GK⑫田宮完悟(2) DF⑦原島玄太(1) MF⑫長谷川紫貴(3) MF⑭普光院誠(2)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 石村大
[シュート]5:8 [GK]8:13 [GK]12:4 [直接FK]16:22 [間接FK]1:0 [主審]八城修 [観衆]169人	
警告(C) / 退場(S)	
[駒]16分伊藤慎人(C) [駒]45+1分田中雄一(C)	[関]70分菅沼優聖(C)
※データの左側が駒大	

今季初の無失点試合で勝利
前節、東国大に敗れ初黒星喫してしまったが、関学大から2点を奪い、さらに今季初となる無失点試合で勝利を収め、勝ち点を「9」へと伸ばした。序盤、相手のパスワークに翻弄され、なかなか良い流れを作れずにいたが、前半7分最初のチャンスが訪れる。コーナーからニアサイドにいた山本が頭で合わせる。しかし、決められず。逆に3分後相手にフリーキックのチャンスを与えてしまうが、枠の上でピンチを逃れる。さらに25分には最大の危機が迫る。守備陣が相手に交わされ、フリーで突破され、シュートを放たれるが、GK大石の気迫のセーブにより最大の危機をなんとか免れる。先制点を獲りたい駒大は前半終了間際、中央にいた中村が相手ボールをカットしドリブル、そして右足で振り抜いたボールが相手ゴールネットに突き刺さり欲しかった先制点を奪取。前半は1点リードし終了。

いい流れで折り返した。
この流れを維持し続けたい駒大は序盤から積極的に攻め続ける。すると、後半55分。GK大石のロングパスから小牟田の体格を生かしたヘディングでつなぎ、最後は相手の裏へ抜け出した山本が滑り込み追加点を奪う。その後、柳川、キム、菊池と来年、再来年の中心となる選手たちを投入する。すると、82分交代で入ったそのキムがDFを突破しエリア内へボールを通すかさず碓井がシュートを放つが枠内には入らず。さらに終了間際左サイドからまたしてもキムがドリブルで相手と交わしてからエリア内へボールを供給しチャンスを作る。そして、2点のリードという大きなアドバンテージを取った駒大はいい流れを保ち続け、守備が安定し、今季初となる無失点で試合終了。
秋田監督は、「内容的にはあまり良くなかったが、粘っこくやれて勝ち点を広げたので良かった」と述べた。相手のパスに翻弄されながらも流れを変えて見せた駒大。次節から連戦となる。監督曰く、「粘っこい」戦いで連戦を勝ち取りたい。(清村亮太)